



大戸久一が問う

みんなで和紙に恋してみよう。



手すき和紙体験で、和紙文化に恋をしそうな浴衣姿の体験者。

ユネスコ登録日の感動は



島崎隆夫が問う

宝物である文化財を町民が愛し、保護してゆく町へ。



観光資源でもある文化財だから、道標なども含めて管理する努力をしてほしいな。

町民と共に文化財の保護活用を



戸口勝が問う

今から始めよう、超高齢化に対応する町の未来。



大関町通りの側溝上の歩道ではなく、道路を利用する高齢者。

高齢社会に向けたまちづくりを

Q さまざまな問題の解決策を見出すため、和紙関係者を一堂に会し、膝を突き合わせた意見交換会の実施を。

A にぎわい創出課長 意見交換の場は必要と考えています。過日も和紙工業協同組合の皆さんと和紙体験学習センターの機能等について議論しました。今後も引き続き、意見交換を行なっています。

Q 和紙の原材料である楮の他、ネリ材のトロロアオイは効果のある農薬がなく、連作を嫌うため栽培が難しい。減少する生産農家への支援や出荷先の拡大は。

A 環境農林課長 栽培に関する技術的な難しさや、組合員の高齢化等で栽培面積の減少、また食品添加物として出荷していた寄居町の事業者が廃業し、生産調整を余儀なくされました。茎や良品以外の出荷・新たな出荷先の開拓等、あらゆる可能性を探っています。

Q 和紙サミットのキヤツチコピー「世界はなぜ、和紙に恋をしたのか」の答えは見つかったか。また、和紙文化を地域活性化につなげていく手立ては。

A にぎわい創出課長 答えは参加者の心に訴えかけたものです。また、課題に対して、和紙関係者の皆さんと考え行動すること、町はその下支えをすることで、和紙文化が広がり、和紙産業と町の活性化につながっていくものと考えています。

Q 町内の指定文化財において管理や理解は十分か。現状をどのように考えているのか。また、町民に伝える術を研究し、知つてもうまい、愛してもらい、共に守つていってもらうようにしなくてはならないと考えるが。

A 生涯学習課長 町内には、国指定5件、県指定10件、町指定57件の文化財があり、管理はそれぞれの保護条例に基づいています。まずは、この条例の執行に当たっては関係者の所有権、財産権を優先しています。その上で、所有者や地域

Q の方々からなる保存会などの団体に管理を委託しています。修理や整備などに多額の費用がかかる場合は、町が補助をしています。せつから指定できたものなので後世に残せるように、保護に努めます。

A 教育に特化したまちづくりを

Q 教育は、国を支える人を育てるためには重要である。義務教育から社会人生涯学習に至るまで、特色ある教育のできる町にしては。

A 建設課長 既存の空間での歩道設置と車両を上下1車線ずつ通行させるには不適当と認識しています。しかし、県の管轄の道路であるので、地域と町の要望を県へと力強くしていきます。

Q 高齢者が買い物などの用事に、気軽に徒歩で出かけてみようと思えるには、

A ひと休みできる場所の提供が必要である。町民の協力のもと「ひと休みベンチ」の設置を進めては。

Q 新年度より始まる「マンドタクシー」は、想定される料金で計算する町の充実は大変重要です。教育の本旨は人づくりであり、未来への投資です。豊かな心と自尊心を持ち、たくましく生きてゆく力を育むための教育を推進していきます。

A 町長ほか 「小川町の教育振興に関する大綱」に示しましたが、教育の充実は大変重要です。教育の本旨は人づくりであり、未来への投資です。豊かな心と自尊心を持ち、たくましく生きてゆく力を育むための教育を推進していきます。

Q 一般質問という文字は、隠れていないほうが良いのでは。

A 都市政策課長 ベンチ設置は、担当課だけではなく全庁で考える内容ですで、大切な事案として今後提案したいと考えています。

Q 新年度より始まる「マンドタクシー」は、想定される料金で計算する町の充実は大変重要です。教育の本旨は人づくりであり、未来への投資です。豊かな心と自尊心を持ち、たくましく生きてゆく力を育むための教育を精査して反映させます。

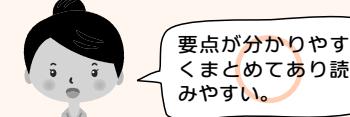


(Y・Tさん・64歳)

一般質問という文字は、隠れていないほうが良いのでは。



(T・Kさん・65歳)



(M・Yさん・59歳)

Mini Column
オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会だよりのいいところ・悪いところ」